

報道関係各位

2020年9月4日

三井住友カードとマクロミルが業務提携 ～ 企業の戦略的なデータ利活用の促進を目指して ～

三井住友カード株式会社
株式会社マクロミル

三井住友カード株式会社（本社：東京都港区、社長：大西 幸彦 以下：三井住友カード）と株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表執行役社長 グローバル CEO：スコット・アーンスト 以下：マクロミル）は、企業の戦略的なデータ利活用の促進を目指した業務提携を行うことで合意しましたので、お知らせします。

Have a good Cashless.

三井住友カードは日本におけるキャッシュレス取引のリーディングカンパニーとして、従来から保有している膨大なキャッシュレスデータ（クレジットカード等による取引等に関する統計データ）を戦略的に活用すべく、2019年10月からデータ分析支援サービスである『Custella（カステラ）^{※1}』の提供を開始しました。現在は、三井住友カードの取引先加盟店や提携企業、自治体等が抱える課題やニーズに応じた分析支援・解決策のご提供に向けて、『Custella』のさらなる付加価値向上に取り組んでいます。

マクロミルは2000年の創業以来、お客様のより良い意志決定を支援するために、最新テクノロジーをいち早く取り入れたマーケティング・リサーチサービスやソリューションの開発・展開に取り組んでまいりました。業界最高水準の規模（日本の人口の1%に相当）と品質を持つ国内約130万人の消費者パネルを自社で保有し、この自社パネルから取得する様々な意識データや行動データを、詳細な属性データに紐づけて提供可能です。特に昨今では、顧客が保有する様々なデータと、マクロミルが自社パネルを通じて取得するデータを同期・補完することで、顧客が持つデータの価値を高める取り組みを進めています。今後は、ネット・リサーチの会社から「リサーチ」×「DATA」の会社へと進化すべく、上記の取り組みに加え、データコンサルティング領域のケイパビリティを強化しており、2020年3月にはデータコンサルティングサービス『MAG（マグ）^{※2}』の提供を開始しました。

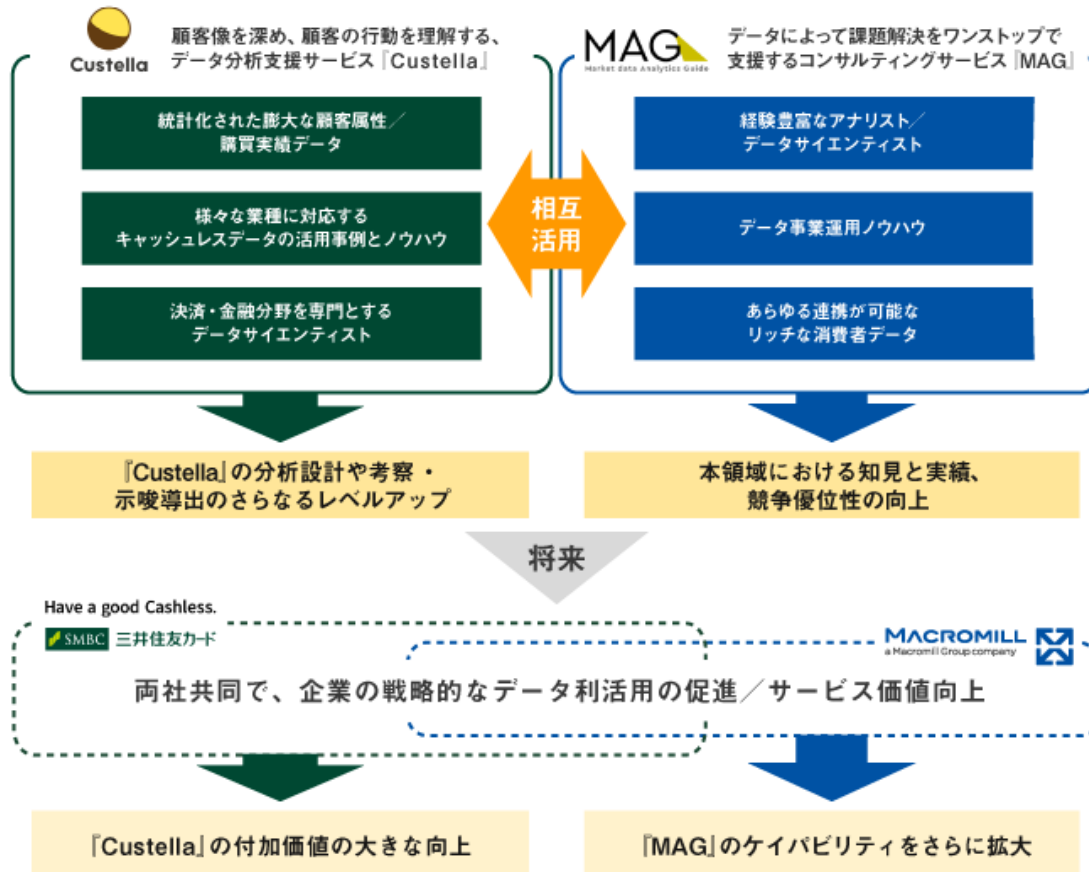
こうした中、本業務提携では、以下の通り、企業の戦略的なデータ活用の促進を目指す方針です。

まず、三井住友カードのデータ分析支援サービス『Custella』において、マクロミルが『MAG』の提供を通じて獲得した様々な知見を全面的に活用することで、『Custella』の分析設計や考察・示唆の導出のさらなるレベルアップを図ります。これにより、アナリストやデータエンジニアがデータ分析設計やレポート、データの集計を行う上で、より効果的なデータマネジメントの実現が可能になります。一方、マクロミルは、国内 No.1 のキャッシュレスデータを持つ三井住友カードとの本件協働を、「リサーチ」×「DATA」の会社への進化と顧客からのパーセプション・チェンジ（認識変容）に向けた、先行的なパイロット案件の一つと位置づけ、この領域における知見と実績、競争優位性の向上を図ります。

その上で、両社は両社のアセットを相互に活用することで、三井住友カードの『Custella』の付加価値を大きく向上させると同時に、マクロミルのデータコンサルティング領域における『MAG』のケイパビリティをさらに拡大させたいと考えています。

三井住友カードとマクロミルはこうした取り組みを通じ、共同で企業の戦略的なデータの利活用の促進を目指します。

提携イメージ図



以上

※1 : Custella について

『Custella』は、三井住友カードが保有するキャッシュレスデータを、個人・加盟店が特定できないよう統計化された顧客属性データ（新規、リピーター、インバウンド等）や、顧客行動ごとに集計し、統計化された購買実績データ（平日、休日、時間帯、エリア等）など、様々な切り口で容易に集計し、データを「見える化」し、三井住友カードの加盟店や提携先企業等のマーケティングを支援する分析サービスです。

サービス紹介サイト：<https://www.smbc-card.com/camp/custella/index.html>

※2 : MAG について

『Market data Analytics Guide』（略称：MAG/マグ）は、マクロミルが提供するデータ活用コンサルティングサービスです。企業のデータ活用における戦略立案から、データの収集・選定、DMP 構築、統合データを用いたアナリティクス、BI ツールを用いたデータの可視化、広告施策の検証など、データ活用のあらゆる支援をワンストップで行います。

サービス紹介サイト：<https://www.mag-macromill.com/>

■三井住友カード株式会社について

三井住友カードは、日本における Visa のパイオニアとして、またキャッシュレスのリーディングカンパニーとして、事業者・利用者双方の「お客さま起点」でキャッシュレスへの課題解決を目指しています。事業者向けには、2019年10月に事業者が抱えるキャッシュレス決済の不自由さの解決として、次世代決済プラットフォーム「stera」を発表するとともに、事業者が抱えるデータ活用やマーケティングの課題の解決として、保有する膨大なキャッシュレスデータを統計化し、取引先さま等に対するデータ分析支援サービス「Custella」を同年10月より提供開始しております。また利用者起点に関しましても、キャッシュレスの急速な普及に伴い様々な決済手段が乱立するなか、実際にキャッシュレスをご利用されるお客さまが「安心・安全」・「便利」・「お得」を実感できるキャッシュレス決済エクスペリエンスを提供しております。

詳しくは、<https://www.smbc-card.com/company/news/index.jsp> をご覧ください。

【三井住友カード株式会社 会社概要】

代表者： 代表取締役社長 大西 幸彦
所在地： 東京本社 東京都港区海岸 1-2-20
大阪本社 大阪府大阪市中央区今橋 4-5-15
設立： 1967年12月26日
事業内容： クレジットカード業務、デビットカード・プリペイドカード・その他決済業務、ローン業務、保証業務、ギフトカード業務、その他付随業務
URL： <https://www.smbc-card.com/>

■株式会社マクロミルについて

マクロミルは、高品質・スピーディな市場調査を提供する、国内インターネット・マーケティング・リサーチのリーディングカンパニーです。市場シェア No.1*の豊富なリサーチ実績とノウハウをもとに、お客様のマーケティング課題解決に向けて最適なソリューションを提供しています。世界20カ国、50の拠点を展開しており、世界に誇れる実行力と、時代を変革するテクノロジーを統合し、唯一無二のグローバル・デジタル・リサーチ・カンパニーを目指します。

(※ オンライン・マーケティング・リサーチ市場シェア=マクロミル単体及び電通マクロミルインサイトのオンライン・マーケティング・リサーチに係る売上高(2018年12月末時点の12ヶ月換算(LTM)数値÷日本マーケティング・リサーチ協会(JMRA)によって推計された日本のMR業界市場規模・アドホック調査のうちインターネット調査分(2018年度分))
(出典:日本マーケティング・リサーチ協会(JMRA)2019年7月1日付第44回経営業務実態調査)

【株式会社マクロミル 会社概要】

代表者： 代表執行役社長 グローバル CEO スコット・アーンスト
本社： 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー 11F
設立： 2000年1月31日
事業内容： マーケティング・リサーチおよびデジタル・マーケティング・ソリューションの提供
URL： <https://www.macromill.com>

－ 本業務提携件に関するお問い合わせ先 －

三井住友カード株式会社 経営企画部 渉外・広報室 齋藤・森下
TEL : 03-5470-7240 MAIL : public_relations@smbc-card.com

株式会社マクロミル コーポレートコミュニケーション・IR 本部 わたらい 度会
TEL : 03-6716-0707 MAIL : press@macromill.com